



合唱練習のための新型コロナウイルス感染防止策

(京都ミューズ/2021年10月2日付)

新型コロナウイルスへの感染リスクをゼロにすることは、今は誰にもできません。でも、協力しあえば、感染リスクを低く抑えることはできます。

少しでも安全にレッスンを行うため、日頃の体調管理と共に、以下のルールを守ってご参加ください。

新型コロナウイルスワクチンの接種が完了している方も、必ず全項目をお守りください。

【1】 日常の体調管理

- ・ 日頃からマスクを着用し、こまめな手洗い・手指消毒を心がけましょう。
- ・ 毎日検温を行い、発熱がないことを確認しましょう。
- ・ 体調の変化(花粉症などアレルギー症状も含む)は自己判断せず、医療機関へ相談しましょう。
- ・ 《スマートフォンをお持ちの方》新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)や地方公共団体の接触確認システムを使用するなど、新型コロナウイルス陽性者との接触確認が容易となるよう心がけましょう。

【2】 来場の際の注意事項

ご本人の罹患等により、行政・保健所等からの指示を受けている方は、それに従ってください。

(1) 練習前 1 週間以内に以下に該当する項目がある場合は、参加を見合わせてください。

- 原因によらず、以下のいずれかの症状
 - ・ 平熱を超える発熱、悪寒
 - ・ 咳、息苦しさ・呼吸困難、喉の痛み、鼻水・鼻づまり
 - ・ 全身のだるさ(倦怠感)、頭痛、関節痛・筋肉痛
 - ・ 味覚・嗅覚障害
 - ・ 目の痛みや結膜の充血
 - ・ 下痢、吐き気・嘔吐
- 新型コロナウイルス陽性者との接触
- 新型コロナウイルス感染疑いの方との濃厚接触
- 入国制限、入国後の要観察期間地域へ過去 14 日以内に渡航された方、または当該地域にお住まいの方との濃厚接触

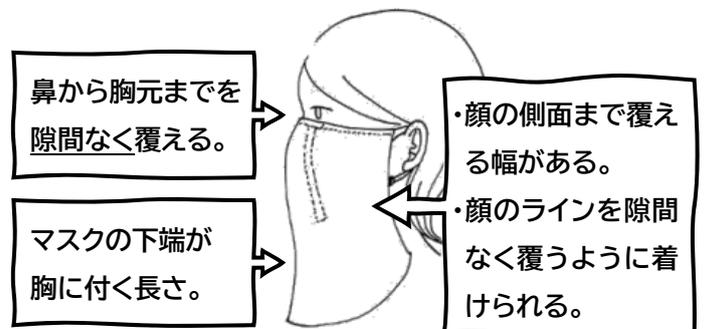
(2) レッスンには必ず、以下のものをお持ちください。

- 楽譜
- 筆記用具
 - ※接触感染防止のため、楽譜・筆記用具の貸出は行いません。
- 不織布マスク
 - ※着用していない方は、入場できません。
 - ※感染リスクをより低減させるため、不織布のものに限りま
 - す。鼻・頬・顎のラインに沿って密着するものを選びましょう。
 - ※鼻から顎までを覆うように着けましょう。
- 合唱用マスク
 - ※下記《合唱用マスクの基準》を参考に、基準に合うマスクを用意してください。
- 手指消毒液
- 清潔なハンカチ(ハンドタオル)

《合唱用マスクの基準》

飛沫感染のリスクを最小限に抑えるため、レッスン中は不織布マスクの上に合唱用マスクを重ねて着用します。

- ・ 織目が細かく隙間のない生地のものを選びましょう。メッシュ生地など隙間の多い生地は不可とします。
- ・ 本番衣装として着用する可能性があります。全体に統一感が取れるよう、遠目に白～淡いクリーム色程度に見える色のものを選んでください。
- ・ 合唱団で共同購入も行います(カワイ出版「コーラスマスク/シャンパンゴールド」)。必要な方は入団時に、登録用紙または入団申込フォームにてお申込みください。



<https://toukon1956.com/callus/projects/mask/> より引用

※この状態で歌えるかを事前に確認しておきましょう。

【3】レッスン会場での注意事項

レッスン会場での飛沫感染、接触感染を避けるため、会場では以下の点を守りましょう。

- 不織布マスクを着用し、咳エチケットを心がける。
- 会話は控え、話すときも1mを目安に離れる。
- 団員同士の身体接触がないように心がける。
- 楽譜や筆記用具の貸し借りは避ける。
- 会場(ロビー等含む)での食事は控える。
- 水分補給は周囲に人の少ない場所で、短時間に済ませる。
- 飴など飲食物のやり取りは避ける。
- 飲食の前後やトイレの後など、こまめな手洗い・手指消毒を行う。
- 歯磨きやうがいなど、館内での飛沫飛散に繋がる行為は避ける。

【4】レッスンの流れ

■入場時の流れ

受付の混雑緩和のため、できるだけ余裕をもってご来場ください。

1. 不織布マスクを着用してから来場する。
※着用されていない方は入場いただけません。
2. 入口で手指を消毒し、検温を受ける。
3. 受付設置の出席確認用 QR コードリーダーに、名札の QR コードをかざす。
※出席印の共用等による接触感染防止のため、上記の形で受付とします。名札は初回来場時にお渡しします。
4. 必要に応じて、受付でその他の用を済ませる
5. 掲示板で連絡事項を確認する。
6. レッスン室に入り、着席する。
7. 不織布マスクの上に合唱用マスクを着用し、静かにレッスン開始を待つ。

■レッスン中の注意事項

- 不織布マスク・合唱用マスクを重ねて着用する。
- 水分補給はレッスン室外で行う。
- パートの中で座って歌う人と立って歌う人が混在しないよう、先生方の指示に従う。
- 席の移動はしない。椅子の共有を避け、距離を保つ。
- 楽譜の見せ合いはしない。

■レッスン後の流れ

1. 会場を出る前に手指を消毒する。
2. エレベーターは分散して利用する。
3. 会食は控える。

【5】帰宅後

ご本人の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は京都ミューズ事務局(075-353-7202 平日11:00~17:00)にご連絡ください。

※お電話の際は、まず「合唱団員である旨」と「氏名」をお伝えください。

※事務局不在時は、留守番電話に用件を録音してください。

必要に応じて折り返しご連絡します。

※事務局は秘密厳守します。

★練習参加者の陽性が判明した場合、京都ミューズ事務局と合唱団事務局は医療機関及び保健所からの指示に従い、求められる情報の開示と対応に協力します。また、次回のレッスン開催可否について、団員の皆様に連絡を行います。

※団員向けの連絡の際は、個人が特定できる情報を含まないようにします。

【6】合唱団事務局の対応

合唱団事務局では、感染防止のため、以下の対策を取ります。

- ・レッスン会場が定める利用ルールに従って、レッスンを開催する。
- ・レッスン室内の椅子は会場の利用ルールに沿って、事前に定められた距離に並べる。
- ・受付窓口での感染防止対策を徹底する。
- ・30分に1回を目安に、5分以上の換気を実施する。
- ・定期的にドアノブ等の消毒を実施する。

<参考>

全日本合唱連盟「合唱活動における 新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」

<https://jcanet.or.jp/JCAchorusguideline-ver3.pdf>